

平成18年度災害復興科学センター公開講座

災害復興科学センターでは、平成18年度に「子どもたちに災害をどう教えるか」をテーマとして公開講座を開講した。

講座の概要

本講座では、子どもたちの教育に関わっているあるいは関心のある方々を対象として、学校教育の中で子どもたちに学んでほしい・伝えてほしい災害の実態、防災のポイントを中心に解説を行うこととした。大学としては、直接的に子どもたちに対して、災害を伝える機会が少ないことから、新潟地域の災害の具体的事例や災害発生の予測と軽減という基礎的な事項を中心に、まず、子どもたちに教育する機会のある方に理解していただき、日頃の授業の中で伝えていっていただくことを目的とした。このため、授業の中で使えるような災害に関する資料や簡単な実験方法等も紹介した。

講座の日程・題目・講師

会場：新潟大学新潟駅南キャンパス講義室

- | | | | | | |
|-----|----------------|-------------|-------------|----|----------------|
| 第1回 | 2006年11月18日（土） | 13：30～15：00 | 雪の災害をどう教えるか | 担当 | 和泉 薫，河島克久，青山清道 |
| 第2回 | 2006年11月25日（土） | 13：30～15：00 | 地震災害をどう教えるか | 担当 | 卜部厚志，高濱信行 |
| 第3回 | 2006年12月9日（土） | 13：30～15：00 | 土砂災害をどう教えるか | 担当 | 渡部直喜，丸井英明 |
| 第4回 | 2006年12月16日（土） | 13：30～15：00 | 火山災害をどう教えるか | 担当 | 片岡香子 |

まとめ

子どもに伝えたい災害というテーマは、現在の義務教育課程の中で災害が直接扱わない課題であるため、学校教員層を対象とした場合、必ずしも関心の及ばない可能性がある。このため、大学の作成した案内とは別にセンター独自でビラを作成し、あらかじめ新潟市内の全小・中学校に配布した。

結果的には開講時の受講者は非常に少なく、現職の小中学校教員の参加はなかった（現職高校教員の受講はあった）。今後、同様なテーマでの開講の際には内容の充実とともに、広報にも積極的に取り組む必要がある。

（文責：防災部門・複合防災分野・卜部 厚志）

平成18年度後期新潟大学公開講座
災害復興科学センター公開講座
「子どもたちに災害をどう教えるか」
 平成18年11月18日(土)から12月16日(土)までの 合計4回
 各回ともに 13:30から15:00の予定
 場所/新潟大学駅南キャンパスclick
 『フラーカ3,地下1階 新潟市天橋1-1』

本講座では、子どもたちの教育に関わっているあるいは関心のある方々を対象として、学校教育の中で子どもたちに学んでほしい・伝えてほしい災害の実態、防災のポイントを解説します。新潟地域の災害の具体的事例や災害発生予測と軽減という基礎的な事項を教える立場の方に知って頂き、日頃の授業の中で使えるような災害に関する資料や簡単な実験方法等も紹介する予定です。

講義タイトルは、どう教えるかという名称ですが、具体的には新潟県内外の自然災害に関する写真や資料を用意して、学校等で理科の学習や防災教育に関する学習を始める際の素材として活用いただけるようなものを多数準備したいと思っております。準備した資料はCDあるいはDVDとして受講者の皆様に配布する予定です。

日 程

- 11月18日-雪の災害をどう教えるか
(担当:和泉 薫・河島 克久 青山 清道)
- 11月25日-地震災害をどう教えるか
(担当:卜部 厚志・高濱 信行)
- 12月 9日-土砂災害をどう教えるか
(担当:渡部 直喜・丸井 英明)
- 12月16日-火山災害をどう教えるか
(担当:片岡 香子)

詳しくは、新潟大学のHPまたはパンフレット(要領)をご覧ください。

お問い合わせ先
 新潟大学 防災復興科学センター 学芸課
 TEL (025)262-7633
 月～金曜日(祝日を除く) 8:30～17:15

主催 新潟大学 後援 新潟市教育委員会

写真-1 公開講座チラシ



写真-2 受講者による水の過冷却実験